

# 局長級人事異動 知事コメント

(令和4年3月25日)

- 1 今春の局長級人事は、コロナ禍の厳しい状況や国際情勢の変化等を踏まえ、気候変動や自然災害をはじめ様々な脅威への備えを固め、ハード・ソフトの両面から都市の強靱化を図るなど、東京の持続的な発展の鍵である「成長」と「成熟」の両立を実現し、光の如き速さで「東京大改革」を進めるため、適材適所かつ実力本位の配置を行った。
- 2 技術面で私を補佐する都技監には、都市インフラの整備に尽力している中島建設局長を配置し、現職兼務とした。
- 3 村松総務局長は年度末で定年を迎えるが、新型コロナウイルス感染症対策に、引き続き万全の体制で臨むため、当面、勤務延長を行う。
- 4 新設する生活文化スポーツ局長には、これまでホストシティ Tokyo プロジェクトを推進してきた経験があり、調整力に優れた横山政策企画局次長を登用する。
- 5 子供目線の政策を総合的に推進するため新設する子供政策連携室長には、企画力に優れた山下オリンピック・パラリンピック準備局理事を登用する。
- 6 「スマート東京」の推進や東京のDXを担うデジタルサービス局長には、実行力と調整力に優れ、これまでもDXの推進に尽力してきた同局の久我次長を昇格させる。
- 7 「人中心」のまちづくりを担う都市整備局長には、都市づくりの推進に尽力している福田都市整備局技監を昇格させる。
- 8 交通局長には、マネジメント力に優れた武市生活文化局長を配置し、水道局長には、バランス感覚に優れた古谷港湾局長を配置し、下水道局長には、都市インフラ整備に精通する奥山建設局道路監を登用する。
- 9 その他の局長等には、能力・実績を重視し実力本位の配置を行った。
- 10 今回の新任発令は、4月1日付で実施する。